

子どもと子育て世代のために

自治体が努めていること

求められていること

～三鷹市の子育て支援の事例から～

前三鷹市長 ・ 清原 慶子

本報告の視点・論点

1. 妊娠期からの切れ目のない子育て支援の推進
2. 子育てにおける男女平等参画の推進と働き方改革及び起業・創業支援
3. 多様な子育て支援の担い手の活躍
4. 求められる施策の方向性

1. 妊娠期からの切れ目のない子育て支援の推進

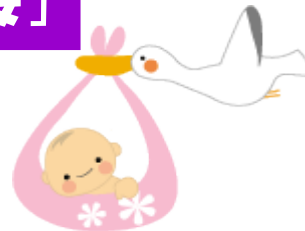
○ 「子育て世代包括支援センター」機能の充実

三鷹市では、総合保健センター、子ども発達支援センター、子ども家庭支援センターが連携して、「子育て世代包括支援センター機能」を発揮！

○ ウェルカム ベビー プロジェクト みたかの展開

- * 妊娠中から赤ちゃんを迎える家族が健康で安心して過ごし赤ちゃんの誕生をイメージすることを支援する
- * 地域の子育てサポートの情報を提供し、事情に合ったサービスの活用を支援する
- * 子育てについての学習、交流を支援し、相談を受ける

妊婦全員対象「ゆいかご面接」



「子育てガイド」と「ゆいかごスマイル」



2. 子育てにおける男女平等参画の推進と働き方改革及び起業・創業支援

○ 三鷹市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2016年3月策定）

3つの基本目標

基本目標1

子どもたちの健やかな育ちの支援やライフ・ワーク・バランスの実現による、「親の妊娠期から出産・子育て期の希望を叶えるまちづくり」

基本目標2

コミュニティの創生による、「市民がともに支え合い、健康で心ゆたかに生活できるまちづくり」

基本目標3

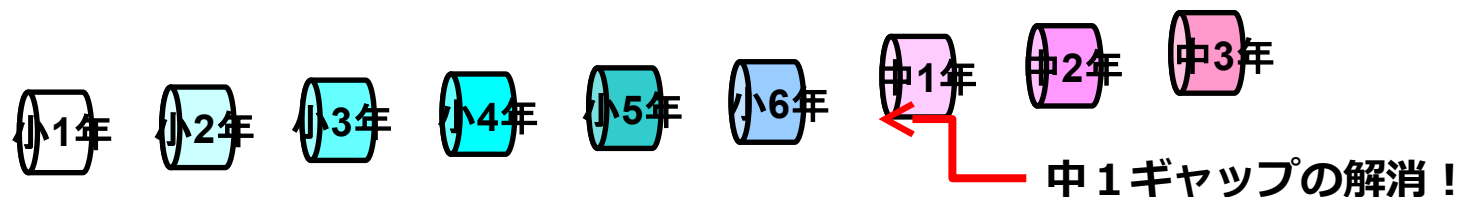
民学産公の協働を通じた地域の活性化による、「持続可能な都市の実現」

○ 総合戦略に基づく取り組み

- * 市内小規模企業のライフ・ワーク・バランス実態調査
- * モデル企業の働き方改革を支援
- * モデル企業の働き方改革の実践の発表による共有とヨコ展開

3. 多様な子育て支援の担い手の活躍

- 「コミュニティ・スクール」を基盤とした小中一貫教育



- ファミリー・サポート・センター事業やホームスタートなど共助の仕組み

 - * スキルアップした援助会員「みたかチルミル」を養成 など

- 多世代交流センターの展開：児童館機能・青少年支援・生涯学習機能、多世代交流の日

 - * 多世代交流パートナー制度の創設

4. 今後求められる施策の方向性

- 支援の質の向上をめざす国・都道府県・市町村の役割分担と連携
- 施設保育・在宅保育・子ども子育て支援サービスの質の向上
- 被虐待・貧困等の課題を持つ子ども家庭支援の充実
- 多様な担い手の参加と交流⇒まずは、父親の育児参加の恒常化を
- ひとり親、LGBTの親が孤立しない、自立支援と寄り添い
- 子どもと親の、障がいを含む多様な個性についての理解の深化
と質の高い支援を
- 子ども子育ては、支援者・被支援者相互にとっての「エンパワーマント」
- 多様性の受容、多世代交流、多職種連携による
家族だけで抱え込まない子ども子育て支援を